

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	みやぎ産業交流センター
指 定 管 理 者 の 名 称	夢メッセみやぎ管理運営共同事業体
施 設 所 管 部 課 (室)	国際政策課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
年 月 ～ 平成18年 3月	管理委託	財団法人みやぎ産業交流センター	
平成18年 4月 ～ 平成19年 3月	指定管理者	財団法人みやぎ産業交流センター	
平成19年 4月 ～ 平成22年 3月	指定管理者	財団法人みやぎ産業交流センター	
平成22年 4月 ～ 平成25年 3月	指定管理者	夢メッセみやぎ管理運営共同事業体	
平成25年 4月 ～ 平成26年 3月	指定管理者	夢メッセみやぎ管理運営共同事業体	
平成26年 4月 ～ 平成31年 3月	指定管理者	夢メッセみやぎ管理運営共同事業体	
平成31年 4月 ～ 令和 6年 3月	指定管理者	夢メッセみやぎ管理運営共同事業体	
令和 6年 4月 ～ 令和11年 3月	指定管理者	夢メッセみやぎ管理運営共同事業体	

※ 管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	夢メッセみやぎ管理運営共同事業体(コンソーシアム【5団体】)
	所在地	仙台市宮城野区港三丁目1-7
指 定 期 間	令和 6年 4月 1日 ～ 令和11年 3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	☒ 公募 ☐ 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	みやぎ産業交流センター【愛称:夢メッセみやぎ】	
所 在 地	宮城県仙台市宮城野区港三丁目1-7	
設 置 年 月	本館:平成7年8月 西館:平成26年4月(利用開始は平成26年7月)	
根 拠 条 例 等	産業交流センター条例、産業交流センター条例施行規則	
設 置 目 的	情報、技術、文化等の交流を促進し、県内の産業の振興及び県民福祉の向上に寄与するため。	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	本館:57, 178. 98㎡、西館:26, 076㎡
	構 造	RC構造 他
	内 容	・本館展示棟、会議棟 ・エネルギー棟 ・西館
開 館 (所) 日	年末年始の12月29日から1月3日を除く日	
開 館 (所) 時 間	午前9時00分 ～ 午後9時00分(一部例外有)	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	1. 施設全体の管理運営業務 2. 施設の使用許可及び利用料金の徴収・減免業務 3. 貸出用備品の調達、供用及び維持管理業務 4. 施設全体の維持管理業務 5. 施設等の更新及び大規模修繕等業務 6. その他当該施設の管理運営に関して宮城県が必要と認める業務	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	☒ 有 ☐ 無
	利 用 料 金 の 名 称	センターの利用に係る料金

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目		事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
		評価対象年度 (令和6年度) (A)	前 年 度 (令和5年度) (B)	評価対象年度 (令和6年度) (C)		
本館	開館(所)日数	359 日	360 日	359 日	100.0%	99.7%
	延べ主催者数	250 人	221 人	253 人	101.2%	114.5%
	延べ来場者数	360,700 人	328,684 人	364,696 人	101.1%	111.0%
西館	開館(所)日数	359 日	360 日	359 日	100.0%	99.7%
	延べ主催者数	185 人	201 人	188 人	101.6%	93.5%
	延べ来場者数	35,050 人	35,938 人	26,301 人	75.0%	73.2%

※ 対象施設が複数ある場合は施設ごとに記入

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目				事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
				評価対象年度 (令和6年度) (A)	前 年 度 (令和5年度) (B)	評価対象年度 (令和6年度) (C)		
本館	展示棟	展示場	主催者数	80 人	70 人	79 人	98.8%	112.9%
			来場者数	350,000 人	316,077 人	344,368 人	98.4%	109.0%
	屋外展示場		主催者数	20 人	22 人	26 人	130.0%	118.2%
	会議棟	大ホール	主催者数	100 人	97 人	91 人	91.0%	93.8%
			来場者数	10,000 人	12,239 人	18,042 人	180.4%	147.4%
		会議室	主催者数	50 人	32 人	57 人	114.0%	178.1%
			来場者数	700 人	368 人	2,286 人	326.6%	621.2%
	西館	展示場	主催者数	20 人	20 人	22 人	110.0%	110.0%
来場者数			20,000 人	19,400 人	10,750 人	53.8%	55.4%	
ホール		主催者数	35 人	31 人	42 人	120.0%	135.5%	
		来場者数	10,000 人	10,700 人	10,876 人	108.8%	101.6%	
会議室		主催者数	120 人	139 人	111 人	92.5%	79.9%	
		来場者数	5,000 人	5,803 人	4,648 人	93.0%	80.1%	
研修室		主催者数	10 人	11 人	13 人	130.0%	118.2%	
		来場者数	50 人	35 人	27 人	54.0%	77.1%	
合 計		主催者数	435 人	422 人	441 人	101.4%	104.5%	
		来場者数	395,750 人	364,622 人	390,997 人	98.8%	107.2%	
合 計				396,185 人	365,044 人	391,438 人	98.8%	107.2%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円、%)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和6年度) (A)	前 年 度 (令和5年度) (B)	評価対象年度 (令和6年度) (C)		
県指定管理料	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
利用料金収入	400,000	395,104	404,123	101.0%	102.3%
その他(自主事業分抜き)	5,428	5,350	6,325	116.5%	118.2%
収 入 計 (a)	405,428	400,454	410,448	101.2%	102.5%

(2) 支出

人件費	72,939	71,800	74,258	101.8%	103.4%
施設管理費	244,000	230,848	247,798	101.6%	107.3%
事業運営費	19,804	19,209	22,156	111.9%	115.3%
納付金	36,364	51,852	36,364	100.0%	70.1%
その他(自主事業分抜き)	10,400	9,679	10,399	100.0%	107.4%
支 出 計 (b)	383,507	383,388	390,975	101.9%	102.0%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	21,921	17,066	19,473	88.8%	114.1%
前期繰越収支差額	0	12,877	0	#DIV/0!	0.0%
次期繰越収支差額	21,921	29,943	19,473	88.8%	65.0%

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲

(1) 収入 (単位:千円、%)					
項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和6年度) (A)	前 年 度 (令和5年度) (B)	評価対象年度 (令和6年度) (C)		
自主事業	1,000	1,283	1,924	192.4%	150.0%
収 入 計 (a)	1,000	1,283	1,924	192.4%	150.0%
(2) 支出					
自主事業	18,252	20,372	14,878	81.5%	73.0%
支 出 計 (b)	18,252	20,372	14,878	81.5%	73.0%
(3) 収支					
収 支 (c)=(a)-(b)	-17,252	-19,089	-12,954	75.1%	67.9%
前期繰越収支差額	0	-62,576	0	#DIV/0!	0.0%
次期繰越収支差額	-17,252	-81,665	-12,954	75.1%	15.9%

6. 評価対象年度(令和6年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

主な視点	項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
					評価		評価
経済性	施設・設備の維持管理業務の実施	みやぎ産業交流センター維持管理業務仕様書に基づき、下記各業務を行なった。 1 電気・機械設備等の運転監視及び日常保守点検業務 2 清掃業務 3 警備(防災センター)業務 4 機械警備業務 5 法定点検業務 6 法定外点検業務 7 修繕業務 8 植栽管理業務 9 除雪・融雪業務 10 駐車場管理業務 11 その他施設の良好な維持管理に必要な業務		日常・定期・臨時・緊急の各点検を実施することにより、施設・設備にトラブルをきたすことなく、安定した環境で施設を顧客に提供することができた。	S	日常・定期・臨時・緊急の各点検について四半期ごとの業務進捗状況報告書で報告を受けており、適切な施設・設備の維持管理が行われたものと認められる。また、報告書での報告以外でも、施設及び設備に異常があった際は、その都度、報告をもらっており、適切に業務が行われていると判断する。	A
	収支実績	上記5.管理運営収支実績のとおり。		前指定期間で3年間赤字計上が続いたが、当該年度は黒字を計上し、施設利用料収益も予算を上回った。	S	施設利用収益が当初計画よりも多い金額となっており、収支についても、令和2年度ぶりの単年度黒字を計上していることから、運営努力が認められる。	S
効率性	管理運営体制	指定管理者の構成員は、(一財)みやぎ産業交流センターを代表とし、同和興業(株)、(株)河北新報社、(株)仙台放送、東北放送(株)の5社からなる。 構成団体各社からなる運営委員会を置き、その下で指定管理業務統括責任者が各部門を管理する体制をとっている。		共同事業体の構成員各社が事業計画及び運営委員会の方針に基づき分掌して事業を行っており、専門性と質の高い事業運営を行った。	A	共同事業体構成団体が参画する運営委員会により、各団体が連携しながら適正な管理運営がなされたものと認められる。	A
	人員体制	正規人	非正規人				
	運営業務(ソフト事業等)の実施	業務仕様書に基づき、下記各業務を行なった。 1 施設全体の管理運営業務 2 施設の使用許可及び利用料金の徴収・減免業務 3 貸出用備品の調達、供用及び維持管理業務 4 その他の業務					
有効性	利用実績	上記4.施設利用実績のとおり。		コロナ禍以前の状況には及ばないものの、本館展示場の稼働は前年度を上回った。	S	施設利用者数(主催者)については、今年度事業計画及び前年度実績を上回り、来場者数も前年度実績を上回っていることから、優れた管理運営が行われているものと認められる。 一方で、コロナ禍前の状況には、まだ回復できていないことから、従前の利用数回復に向けた努力が引き続き必要である。	S
	利用者サービスの向上	顧客に対し、様々な情報を提供し、利便性の向上に努めた。		会場利用前にレストランの案内を行うなど、顧客が必要とする情報を提供した。 また、上記「運営業務(ソフト事業等)」の実施」に記載した広告パッケージプランのほか、会員となっている「仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアム」を通じて、最寄り駅である中野栄駅の改札前に夢メッセみやぎを含む各種施設を多言語で紹介する4看板を設置し、よりスムーズな誘客に努めた。	S	毎月報告されるアンケートから、指定管理者の対応について一定の良い評価を得ていることが確認出来たほか、年度事業計画で実施予定外であった広告パッケージプランの開発・提供や、最寄り駅に施設を多言語で紹介する看板を設置する等、年度事業計画書等の内容を上回る取組があったと認められる。	S
	利用者の苦情、要望等の把握とその反映	アンケート調査で得られた顧客からの要望を基に、業務改善を行っている。		アンケート調査で意見があった場合には、個別に聞き取りを行い改善につなげる等の努力を行い、利用者満足度の向上に努めた。	S	アンケート調査で意見のあったことについて、催事が複数同時に開催された際の案内表示の出し方を工夫する等、可能な範囲で速やかに改善に取り組んでおり、利用者満足度の向上に努めているほか、アンケート調査の様式を回答しやすいように更新する等、要望等を積極的に把握しようとする姿勢が見られ、優れた管理運営が行われていると判断できる。	S
その他	県民の平等利用	条例等に基づき、平等な取り扱いを行った。		施設の利用においては、特定の顧客を利用することなく公平な取り扱いを行った。	A	アンケート結果等から不平等な取扱に関する苦情は見受けられないことから、適切に対応しているものと認められる。	A
	安全対策	日常的な安全とともに、定期的な火災訓練や津波発生時を想定した避難訓練を行うなど、非常時を想定した安全対策も行っている。		顧客とともに避難経路を確認するなど、実際の対応に努めた。 また、救急救命講習なども行い、有事に備えた。	S	定期的な防災訓練等、施設を安全に利用できるよう取り組んでおり、適切な管理運営がなされている。	A

主 な 視 点	項 目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価	
そ の 他	個人情報の保護	共同事業体が定める個人情報保護規程に基づき業務を行った。	個人情報に関する問い合わせ・苦情等はなく、適切に業務を行なった。		A	A
	自主事業の実施	主な自主事業の実施状況は下記のとおり ・展示会等の開催、支援、誘致 全国やきものフェアinみやぎ2024 ビジネスマッチ東北2024 ほか ・展示会等出展支援事業 みやぎ優れMONO認定製品に支援 ・展示会活用促進事業 夢メッセみやぎ講演会開催	展示会の開催や出展支援などを通し、宮城県の産業振興という施設の設置目的を果たすよう努めた。 特に2月に開催した夢メッセみやぎ講演会「展示会出展時の集客力 UP 術「来場者視点」で人だかりをつくる！」は、実践的な内容で参加者から非常に好評を得た。		S	S
	その他の取組	仙台港エリア振興会、仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアムに参画し、地域の発展に貢献した。	指定管理業務以外にも積極的にに関わり、仙台港地域の中核施設としての責務を果たした。		S	S
	総 合 評 価		施設の稼働が回復基調にあり、順調に実績を上げることができた。		S	S

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評 価	評 価 の 考 え 方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評 価	評 価 の 考 え 方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項 目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	エネルギー費用をはじめとするあらゆる経費の上昇が続いており、施設利用料の改定など、抜本的な対策を検討する必要があるが出てきている。	施設利用料の改定など、指定管理者から協議があった場合は適宜指定管理者と情報共有、意見交換を行い、適切な施設運営が続けていけるよう対応に努める。